

議会報告会 結果概要 2021

Outline of City council's briefing session on citizens' meeting



釧路市議会
— City Council of Kushiro —

目 次

2021年度(令和3年度) 議会報告会の結果の概要	1
会場別の結果の概要	3
音別町行政センター	5
中央図書館	9
鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)	15
阿寒町公民館	23
アンケート集計結果	29
(参考資料) スライド	39

フェイスブックなどで市議会の情報を発信しています！

市議会では、多くの皆さまに議会活動をお伝えするため、議会だよりのほか、フェイスブックやホームページで議会関係情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

 **フェイスブックページ**
<https://www.facebook.com/kushiroshigikai>



 **いいね！してね**



「議会だより」を、電子書籍ポータルサイトやスマートフォンアプリにも掲載しています。パソコンやスマートフォン、タブレットがあれば手軽に読むことができますので、ぜひご活用ください。

 **ホームページ**
<http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html>



本会議のインターネット中継もしています！

ホームページで電子書籍ポータルサイトをご案内しています



2021 年度(令和 3 年度) 議会報告会の結果の概要

釧路市議会は、市民に開かれた議会を目指して、2011 年(平成 23 年)に「釧路市議会基本条例」を制定しました。本条例では、市民に対し議会が持っている情報を積極的に発信して説明責任を十分に果たさなければならないこと、議員と市民が情報や意見を交換する場をより多く設けるよう努めることなどを定めており、その一環として開催するのが「議会報告会」です。取組を開始してから 11 年目となりますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止となったことから、今年度は 2 年ぶり 10 回目の開催となりました。

【開催日程】

例年は、阿寒、音別地区についてはいずれか一方での開催としていましたが、今年度は両方の地区で開催しました。

開催日	開催時間	会場
11 月 2 日(火)	18:30~20:00	音別町行政センター
11 月 4 日(木)	10:30~12:00	中央図書館
	18:30~20:00	鳥取コミュニティセンター (コア鳥取)
11 月 5 日(金)	18:30~20:00	阿寒町公民館

【プログラム】

議長(副議長)による開会挨拶、予算決算常任委員会の新設の報告に引き続き、9 月定例会の概要として、本会議での質疑・一般質問や、各委員会での審査内容を一問一答の形で紹介したほか、新型コロナウイルス感染症対策及び日本製紙株式会社釧路工場に関する市の対応についての審査内容をまとめて紹介しました。その後、参加者との質疑応答、意見交換を行いました。

-
- 1 開会挨拶
 - 2 予算決算常任委員会の新設の報告
 - 3 9 月定例会の報告
 - (1) 日程
 - (2) 主な質疑・一般質問 (7 項目)
 - (3) 各委員会の主な審査内容 (6 委員会 7 項目)
 - (4) 審議結果
 - (5) 新型コロナウイルス感染症対策及び日本製紙株式会社釧路工場に関する市の対応についての審査内容
 - 4 質疑応答、意見交換
 - 5 閉会挨拶

会場別の結果の概要

音別町行政センター

開催日時	2021年(令和3年)11月2日(火) 18:30~20:00
会場	3階会議室
参加人数	21人
出席議員	<p>松橋 尚文 副議長</p> <p>金安 潤子 議員 (議会運営委員会委員長)</p> <p>西村 雅人 議員 (総務文教常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員)</p> <p>秋田 慎一 議員 (経済建設常任委員会委員長)</p> <p>山口 光信 議員 (民生福祉常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員)</p> <p>板谷 昌慶 議員 (議会広報特別委員会副委員長：司会)</p>

意見	<p>釧路市の山林について、森林環境譲与税を活用して森林整備を促進してほしい。この税制度に関し、関係各位で十分に検討され、有効に活用されるよう、市議会としても後押ししてほしい。</p>
秋田議員	<p>林産業の振興等に活用できる税制度であることから、市議会の森林・林業・林産業活性化推進議員連盟の中で協議し、様々な方向での提案ができるよう、今後の議会活動の中で議論していきたい。</p>
質問	<p>市民に分かりやすい開かれた議会を目指す取組は、議会報告会のほかにはあるか。ないのであれば、市民から行政へ寄せられた意見、要望等の内容を議会に開示させ、それらを委員会で一括して検討するというような取組を行ってほしい。</p> <p>そして、その検討した市民の意見等を載せるページを1ページ程度確保し、そこで報告を毎回行うことにより、経費の削減、意識の改革、議会の改革にもなると思う。釧路市全体としていい方向に向かうようお願いしたい。</p>
金安議員	<p>市民と議会が意見交換を行う場としては、現時点では議会報告会のみである。市民を代表する議員として、市民から頂いた意見は尊重すべきと考えており、ご意見をしっかり受け止め、検討したい。</p>

意見	音別地区に住む低所得者世帯の子どもたちは、母子世帯で母親が働いている場合など、こども遊学館や博物館に行くことが難しいと思う。市民のバス利用に対する助成としては高齢者向けのものがあるが、子どもたちに100円～300円程度でそれらの施設に行くことのできるチケットを発券してほしい。
山口議員	高齢者外出促進バス事業は好評をいただいているが、子ども向けのものはないため、貴重なご意見をいただいた。議会で質問したい。

意見	音別地区には学習塾がない。釧路地区の子どもたちと一緒に、そうした教育を低額で受けられる機会を用意できないか。議員が子どもたちのバスパス基金のようなものを設けてくれたら、私は寄附したい。
西村議員	大変参考になるご意見であり、担当課へ伝えるとともに、今後の議会活動に生かしていきたい。

意見	音別地区の洪水ハザードマップが作成されていないことについて、議会で質問してほしい。診療所や介護老人施設は、洪水の際の避難が大変であると思う。
西村議員	津波対策については議会で多く議論されているが、洪水対策についての議論は手薄だったかもしれない。洪水ハザードマップが作成されていないということは深刻な問題であるという立場から議会で質問していきたい。

意見	災害時に避難の支援等を行う必要のある高齢者等の話題があったが、ほかの地区の町内会と同様に、音別地区の町内会も高齢化しており、若い人が少ない現状である。
山口議員	町内会は誰もが加入するものと考えているが、加入を強制できないことが難しいところである。どうすれば若い人が加入するか調査しながら、災害時の避難行動を含めて、委員会の中で話をしていきたい。

意見	先ほど参加者から意見があったように、音別地区は山林から多くの恩恵を受けており、魅力の一つでもあることから、人口減少を悲観的に捉えることなく、魅力のあるまちにしてほしい。
秋田議員	音別地区の魅力発信について、観光に関しては阿寒地区だけということではなく、音別地区や釧路地区も含めて、しっかり取り組むよう訴えていきたい。

意見	議員が音別地区を訪れて住民の意見を聞くことは、意味のあることだと思う。今後も、住民を代表しての提案や今後の展望等について、町内会と議会とで一緒に考えていきたい。
秋田議員	議会広報委員会や正副議長を中心として、音別地区の住民とより深く意見交換を行う方法の検討も含め、釧路地区の議論ばかりとならない議会づくり、議会運営を志していきたい。
松橋副議長	市議会としては、議会報告会に加え、各種団体との意見交換会を行っている。町内会等の単位で申込みがあれば、議会報告会とは別の機会に意見交換会を行うこともできるので、ご連絡をいただきたい。

<p>質 問</p>	<p>市議会のフェイスブックについて、市民が意見しやすい内容の記事の掲載や、記事に議員自身がコメントを付けた上でシェアする(記事を友達に伝える)などの工夫をすれば、より伝わる記事になると思うが、どう考えているか。</p>
<p>松橋副議長</p>	<p>フェイスブックの性質上、個人のページの拡散力のほうが大きいと感じている。閲覧者の嗜好に合うページが表示される性質もあり、興味がないものは表示されなくなってしまう。また、議会の記事は硬い内容になりがちであり、市民が「いいね」を押しにくいという事情もあると考えている。</p> <p>市議会のページを見ていただけるような運用の仕方を勉強し、記事の拡散力を高めていくことを検討したい。</p>
<p>板谷議員</p>	<p>広報委員会としても、皆さんの貴重なご意見をお聞きして、それを一つ一つ議論できるよう進めていきたいと考えている。ご意見をいただいた記事の拡散の方法についても、検討していきたい。</p>

中央図書館

開催日時	2021年(令和3年)11月4日(木) 10:30~12:00
会場	7階多目的ホール
参加人数	23人
出席議員	<p>松永 征明 議長</p> <p>河合 初恵 議員 (議会運営委員会副委員長)</p> <p>松尾 和仁 議員 (総務文教常任委員会委員、議会広報特別委員会委員：司会)</p> <p>酒巻 勝美 議員 (経済建設常任委員会委員、上下水道事業審査特別委員会委員)</p> <p>畑中 優周 議員 (民生福祉常任委員会委員、都心部市街地整備特別委員会副委員長)</p> <p>工藤 正志 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長)</p>

意見	<p>議会報告会をオンラインで配信し、配信したものを後から見られるようにしておくことで、もっと多くの市民の参加が望めるのではないかと。SNSの活用など、若い世代も参加しやすいような幅広い情報発信を行うよう努力してほしい。</p>
松尾議員	<p>今回の報告会の様子はオンライン配信されないが、まちなかで話題になっている事柄について議員が話している様子がユーチューブの動画で配信されたこともあり、今後の議会広報特別委員会で議論していきたい。</p>
意見	<p>インターネットの中の市民の声が実は本音である場合もあることから、議員がツイッターやSNSを活用し、そうした部分を理解してほしいと思う。</p>
松尾議員	<p>各議員のSNS等による情報発信は重要であると認識しており、強制するのは難しいが、市民との市政情報の共有を図っていききたい。</p>

意見	ツイッターの公式アカウントについて、他都市は設けているようだが、鉦路市にはないことから、設立してほしい。
松尾議員	総務文教常任委員会の所管であり、担当課に伝えたい。

意見	議員が行った行政視察の内容についての報告会を開催してほしい。視察で感じた内容について、個人のブログやSNSでの文章ではなく、報告会の場で伝えてもらうことに魅力を感じる。
松永議長	実は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、昨年以降ほとんど視察を行っていない状況である。視察後に報告会を行うことについては、大変貴重なご意見であり、今後、各会派で相談していきたい。

意見	<p>議会で質問のあった事柄について、答弁の内容だけではなく、その後どうなったかを知りたい。</p> <p>できなかったことについても、「こういう問題点があったからできなかった」ということが分かれば、市民としては議会をもっと後押しできると思う。</p>
松尾議員	議員個人で市政報告等を行っている者もあり、今後議論していきたい。

意見	議会が公式の場で取り扱いにくい事柄についても何らかの形で発表していただきたい。
----	---

意見	<p>選挙の投票日について、寿都町長選挙は10月21日告示で、10月26日火曜日が投票日だった。おそらく、うまく予算を確保するために、日曜日を投票日としない日程にしたのだと思う。</p> <p>選挙に係る経費を減らし、その分を次のステップのIT化に向けた経費に充てて、コンピューター投票のような形が実現できればいいと思う。</p>
松尾議員	<p>大きな話だと思うが、貴重なご意見として担当する部署にしっかり伝えていきたい。</p>

質問	<p>北大通にある老朽化した空きビル、旧図書館や旧科学館について、取り壊すのだと思うが、この議題について市議会で議題に上がったことはあるか。震度7の地震が起きたら建物が崩れるおそれがあるのではないか。</p>
酒巻議員	<p>民間ビルは市が勝手に解体することはできないが、旧図書館については、これまで本会議の一般質問の中でも委員会の中でも跡地活用の問題も含めて議論されてきた。旧科学館についても跡地利用を含めた方針について議論はしてきているものの、一定の方向性を見出すには至っていない。</p>

意見	<p>新しい図書館が出来た際に、旧図書館の解体について考えておくべきだったと思う。</p>
松永議長	<p>解体に係る財政上の問題、跡地の活用の問題等があるとのことで、市では様々な検討を行っているようだ。このまま何十年も放置されることはないと認識しているので、ご理解いただきたい。</p>

意見	<p>市内の公園について、親からの目線から見ると、どこの公園も同じ遊具に見える。障がいをもつ子どもにも優しい公園づくりということで、インクルーシブ遊具というものが東京など各地で昨年から導入されている。議員が行政視察を行う際は、このような公園も見に行ってもらいたい。</p>
酒巻議員	<p>各担当課のほうにしっかり今日のご意見を伝えていきたい。また、議会でも今後議論を深めていきたい。</p> <p>基準に沿って公園を設置していけばいいという時代ではない。各種団体や地域の方の意見を聴き、その全部を反映できないとしても、できるだけ意見を吸い上げて、お話のあったような公園に近づけていくことが大事だと思う。</p>

質問	<p>ほかの議会では、議員の質疑、質問に対して事前にすり合わせをした上で回答していると聞すが、釧路市議会ではどうか。</p>
松永議長	<p>一般質問の際、質問者は締切りまでに質問項目を提出し、その内容をみて理事者は答弁内容を考える、1回目の質問についてはそうになっている。</p> <p>2回目の質問からは一問一答方式といって、1回目の答弁を受けて、理事者に対してさらに質問を行い、答えをいただくという方式になっている。釧路市議会としては、これからもこの方式を継続していきたいと考えており、ご理解いただきたい。</p>

意見	<p>議員の質問に対する市の回答が「検討したい」とか「～～したい」というような抽象的な形でされていると思う。国会では、「前向きに検討します」というのは「やりません」ということだそうだ。</p> <p>期限を決めて検討結果についてきちんと回答をもらうことや、その後どうなっているかの確認をお願いしたい。</p>
松永議長	<p>たしかに「検討したい」というような回答もあるが、きちんと期限をつけて「これはしっかり対応します」、「これはいつまでにやります」という回答をもらうこともあるので、ご理解いただきたい。</p>

意見	<p>今回の議会だより(第 72 号)には阿寒と音別のテーマが載っているが、阿寒や音別出身の議員が少ない、またはいないことにより、その地域の問題が議会で十分に取り上げられていないのではないかと思う。阿寒地区や音別地区についても、釧路地区と同様に、議員としていろいろな課題を取り上げてほしい。</p>
松永議長	<p>合併に際し、釧路地区、阿寒地区、音別地区それぞれに地域協議会が置かれており、そこで議論された内容は、ホームページから閲覧できるようになっている。</p> <p>今後も、阿寒、音別地区にしっかり目を配り、毎議会で質問していただくよう、私のほうからも議員の皆さんをお願いしたいと思っている。</p>

質問	<p>赤潮について、釧路市としての被害や、今後の見通しについて教えてほしい。</p>
酒巻議員	<p>12月定例会において、具体的な被害額、これまでの取組の内容、今後の対策等について、議会でしっかり議論していかなければならないと思う。</p>

意見	<p>釧路コールマインの線路跡（臨港鉄道跡地）については、市の歴史的文化財だと思う。今後、ウォーキング等の催しを行うなどの活用方法も良いのではないか。</p>
酒巻議員	<p>議会として、また市として具体的に議論はしてきたものの、明確に公園を整備するとか、跡地活用をするという結論には至っていない。会社側の協力を得なければならないという問題もあり、現状では厳しいという判断である。市民団体の動きに対しては、市も連携し、サポートを行っている。</p>

意見	<p>議会報告会は良い取組だと思うが、合計で100名程度しか参加できないのはとても残念に思う。もっと多くの会場、コア3館や町内会館などで開催すれば、市民と議会がより近い関係になるのではないか。</p>
松尾議員	<p>平成23年に初めて議会報告会を行い、いろいろな変遷の結果、今日を迎えている。SNSによる発信等も含めて、報告会の在り方も変わり続けていくかもしれない。時代に合った開催方法や時間帯も含めて、しっかり議論していきたい。</p>

鳥取コミュニティセンター（コア鳥取）

開催日時	2021年(令和3年)11月4日(木) 18:30~20:00
会場	2階学習室兼会議室
参加人数	15人
出席議員	松橋 尚文 副議長 梅津 則行 議員（議会運営委員会委員、総務文教常任委員会副委員長） 森 豊 議員（経済建設常任委員会委員、上下水道事業審査特別委員会委員） 宮田 団 議員（民生福祉常任委員会委員） 続木 敏博 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長） 伊東 尚悟 議員（都心部市街地整備特別委員会委員、議会広報特別委員会委員長：司会）

質 問	予算決算常任委員会を新設した動機、それまで何が不十分であったから設置したのか、新設することによって何を期待しているのかについて聞かせてほしい。
松橋副議長	<p>今まで予算議案は、総務文教、経済建設、民生福祉の3つの委員会に議案を分割して審議し、採決していた。これは分割付託といい、違法ではないものの、グレーの部分がある。調査を行ったところ、分割付託を行っているのは道内市では釧路市議会のみであることも分かった。</p> <p>そこで、見直しを行う中で、まず分割付託をやめ、1つの委員会で一括して審議を行い、採決を行うこととした。また、予算と決算の審議は毎年行われることから、案件ごとに一時的に設置される特別委員会ではなく、常任委員会として新設した。集中的な審議は、予算決算常任委員会の中に分科会を設置して行う運用としている。</p>

<p>質 問</p>	<p>昨年度は地区会館の運営に対する市からの補助があったが、今年度はあるのか。</p> <p>また、会館の老朽化に伴いじゅうたんの張替えを行ったが、市のほうから補助をしてほしいと思っている。</p>
<p>宮田議員</p>	<p>会館の運営が非常に厳しいことは認識しており、委員会でも質問しているところである。再度確認しながら、市のほうに要望を上げていきたい。</p>

<p>質 問</p>	<p>石炭政策について、石炭燃料に対する風当たりが強くなっているが、それを乗り越えて、釧路市の石炭を使っていくための努力は、市として行っているのか。また、中央要請先から何か提案はあったか。</p>
<p>続木議員</p>	<p>新しく建設された火力発電所は、日本や世界が目指す方向と相反するのではないか、二酸化炭素排出削減をしなければならないが釧路市には日本で唯一の炭鉱がある、こうした葛藤は皆あると思う。</p> <p>釧路市としては、国の方針を踏まえて、石炭産業というよりもこの技術については、釧路市の持っている一つの財産であり、継続させていきたいという回答になる。議会では、二酸化炭素の排出削減に対して、できる限りの技術的な対策をしていきたい、新しい技術を生み出していきたい、世界に対してそういう面で貢献していきたいという議論をしている。</p>

質 問	<p>株式会社釧路火力発電所で行っている、石炭と何かを混ぜてカーボンニュートラルに少しでも近づけていくことは、結構先進的な事例であると思う。国内のほかの火力発電所にそれを広げていこうという動きは、行政や市民活動の中にあるか。</p>
-----	--

続木議員	<p>議会議論の中においては、釧路市や釧路火力発電所からそういう情報をほかの火力発電所等に発信した方がいいのではないかというような議論は今のところない。技術的な部分に関しては、釧路市がほかの火力発電所や市町村に対して、指導的な立場に立つということはなかなか難しいと思う。</p>
------	---

意 見	<p>石炭火力については、世界的な情勢が難しい中で、二酸化炭素排出削減や排出権取引の議論とは別のものとして、石炭火力発電における環境対策を考えたときに、日本の技術は使えると思っているが、釧路市単独でできることは限られているとも思う。</p> <p>市としての考えを示して、賛否両論あるとは思いますが、もう少し強く意見を取りまとめて発信していく、さらには道なり国なりで世界に発信していくというスタンスを取ってもらえると、一市民としても心強く、胸を張って石炭火力を進めていけると感じた。</p>
-----	---

続木議員	<p>皆さんよく勉強されていて、本当に頼もしいなと思って聞かせていただいた。この場で私見を述べることはできないが、この会場にいただいたご意見や声は議会の場で伝えていきたい。</p>
------	--

意 見	<p>生活に困っている方が市の窓口につながっていない事例がいくつかあった。行政から町内会への情報提供は個人情報の関係で難しいとのことだった。議員の立場で有権者とつながっている中で、不幸なことが起きないようにサポートしていただきたいと思う。</p>
-----	---

<p>質 問</p>	<p>鉄道高架化や旧日本銀行釧路支店の利活用の話題があったが、かなり莫大なお金を使うことになると思う。財政的には大丈夫なのだろうか。</p>
<p>梅津議員</p>	<p>9月議会で市の決算について議論があり、その中で市の財政についての説明も受けている。以前は市の財政は大丈夫なのかと言われる状態だったが、今はより良くなってきている。このことは基金の積立てなど4つの基準で示されており、夕張市の例は、釧路市には当てはまらない。そういう意味では、財政再建に向け、市としては一定の良い方向に持ってきているという答弁がされている。</p>
<p>伊東議員</p>	<p>旧日本銀行釧路支店について、ライトアップ等により景観のために生かしていこうという動きがされているが、建物の活用となると、10億、20億円単位の改修費がかかることから、まずは建物を維持することとされてきた。しかし、この5年間でさらに老朽化が進んでおり、今後活用等について議論のテーブルに上げようということを提案した。財政的な部分についても、しっかり議会の中で議論をしていきたい。</p>

<p>質 問</p>	<p>旧日本銀行釧路支店については、目的がないまま購入した、または国から押し付けられて購入したのではないか。</p>
<p>森議員</p>	<p>当時、日本銀行と釧路市の間には、旧日本銀行釧路支店の建物や敷地の利活用の話は全くなく、国からの圧力というものもなかった。 建物等の利活用の議論が起こったときに、建物が全国的にも珍しい文化財であることが分かったことから、まずは市で買い取り、できれば文化的に保存して、これを維持していこうという思いで釧路市が購入した経緯があったことはご理解いただきたい。</p>

意見	<p>9月定例会の報告の中で、大楽毛地区と音別地区の津波の緊急避難場所等の話題があったが、釧路市全体のほうはどうなっているか。例えば、鳥取南会館は避難所になっているが、海拔5mであり、10m級の津波が来たらもう鳥取南地区は全滅である。緊急避難場所等の見直しは行われるのか。</p> <p>また、高齢者は国道を渡ることが難しいと思われることから、南側に緊急避難場所等を設けてほしい。</p>
梅津議員	<p>9月定例会の総務文教常任委員会では特に議論はなく、本会議においても冒頭に報告した内容以上の議論は行われていないと思う。ただ、北海道や国の基準等々の関係を踏まえて新たな取組を開始していくという報告はあった。</p>
松橋副議長	<p>鳥取南会館は津波の緊急避難場所等にはなっておらず、コア鳥取や鳥取西中学校が津波緊急避難施設となっているが、国道の南側というご意見があったということは、しっかり受け止めたい。</p>

意見	<p>避難行動要支援者について、町内会としても把握したいが、町内会に加入していない人の個人情報町内会が収集しているのかという問題があることから、何か対策を考えてほしい。</p>
宮田議員	<p>今年度の予算説明の際に、担当課から、クリアすべき大きな課題であると認識しており、地域としっかり話し合っていきたいと聞いた。今後さらに議会として伝えていきたい。</p>

意見	<p>景観という点では、旧日本銀行釧路支店よりも、板張りとなっている旧図書館のほうが早急な対応の必要があると思う。駐車場となる場所がなく、現実的に利活用は難しいと思われることから、建物を解体して草木を植えたほうが景観にとっては良いと思う。</p>
----	---

意見	<p>旧日本銀行釧路支店について、市議会は5年間どのような態度をとってきたのか疑問である。</p> <p>また、図書館についても、新図書館に移転する際には賛否が分かれていたと思うが、移転に賛成した議員は旧図書館の跡地の活用に関してどのような思いを描いて賛成したのか疑問である。</p>
伊東議員	<p>旧日銀の建物や敷地については、5年前の議会の中でも、どのように活用していくのか、どうすべきか活発な議論がされたことを記憶しているが、その中でまずは維持するという形をとってきた。</p> <p>いま、市民から広く活用方法について聞き取り調査を行っているところだが、まずは利活用に向けて進めていく、小樽市や福岡市のように古い建物を活用してまちの賑わいスポットにしていきたいという方針の中での第一歩となっている。</p>
梅津議員	<p>旧図書館をどうするかの議論については、6月定例会や9月定例会の委員会の中では特に議論はなかった。</p> <p>もっとも、議員は事前調査を行った上で委員会での質問を行っているが、事前調査の段階ではまだ具体的なことを考えていないということだったため、あえて委員会では取り上げなかった。</p>

意見	<p>先日、JR釧路駅の高架化についての説明会に参加し、旭跨線橋や北中跨線橋の老朽化、津波からの避難の問題、中心市街地の活性化、市の将来人口の予測、コンパクトシティといった話を聞いて、50年後、自分の子どもや孫がここに暮らしてよかったと思うことのできるまちを描く準備が始まったと思った。目の前のことも、将来のことも大切であり、ぜひ市民の声を聴きながら市議会の中で議論してほしい。</p> <p>議会報告会のような機会をたくさん設けてほしいと思うし、時間を区切って、議会としての質疑応答ではなく、議員の皆さん方の思いも聞かせてもらえれば嬉しいと思った。</p>
----	---

<p>質 問</p>	<p>旧日本銀行釧路支店について、5年前に買い取った際にも市民からいろいろな意見や利活用の案が出されたと思うが、そうした意見やアイデアがこれからの議論の場で生かされることはあるのか。</p>
<p>伊 東 議 員</p>	<p>5年前に多くの意見があったことは知っており、具体的にどういう内容だったかについては承知していないが、以前に意見をいただいた方も含め、今回改めて意見を広く伺うという姿勢で進んでいる。</p>

<p>意 見</p>	<p>北大通に老朽化した民間ビルが多くあるが、議会の中でこうした空きビルをどうするかという議論があれば聞かせてほしい。</p>
<p>伊 東 議 員</p>	<p>中心市街地の空きビルの問題については、これまでも様々な議論がされてきたが、民間所有の建物であることが障壁となっており、市の立場としては、撤去などに際しては国から支援をいただきたいということだが、具体的な進展は今のところないと思う。</p>
<p>森 議 員</p>	<p>地権者の同意がなければ建物の解体や修繕ができない制度となっており、国会で法整備を行ってもらわなければならない。また、国による支援については全国からも要望が上がっている。全議員が何とかしたいと思っている問題であり、間違いなく進めていかなければならない課題の1つであると認識している。</p>

質 問	小さい子どもや障害を持つ子どもにも優しい公園づくりについてのビジョンはあるか。
森 議 員	<p>1つ例を挙げると水飲み場の高さである。他都市の公園を見ると、大人向け、小学生向けの高さに加えて、幼児が飲みやすい高さの蛇口が設けられていた。遊具についても、釧路市の公園のブランコは腰を掛ける板が取り付けられているだけのものが多く、また、滑り台も小学生向けと思われる高さのものがメインとなっていることから、幼児や体の不自由な子どもたちは使いにくいと思う。</p> <p>子育て中の母親たちとの意見交換をここ数年で行うようになったことから、今後様々な意見をいただきながら、この公園ではこのような遊具がある、この公園では体の不自由な子どもも遊べる、というような公園づくりを考えていきたい。</p>

意 見	<p>インクルーシブ公園という、車椅子の子どもや小さい子どもも遊ぶことのできる遊具を置いている公園があるが、国内でも数か所しかなく、北海道にはまだないはずである。釧路市にそのような公園ができれば、市民へのサービス提供だけではなく、域外からも誘客できるのではないかと思うので、議会でも話題にしてほしい。</p>
森 議 員	<p>健常者も、障害を持っている方も一つの公園で遊ぶことのできるような公園づくりについては、子育ての部分でも大いに注目されており、貴重なご意見をいただいたと思う。担当課のほうにしっかりと伝えていきたい。</p>

意 見	<p>5、6年前に参加した際にも意見として述べたが、議会報告会を土日で開催していただきたい。また、時間帯についても夜遅めの時間に開催してほしい。</p>
-----	--

阿寒町公民館

開催日時	2021年(令和3年)11月5日(金) 18:30~20:00
会場	視聴覚室
参加人数	32人
出席議員	松永 征明 議長 岡田 遼 議員 (議会運営委員会委員、総務文教常任委員会委員) 大越 拓也 議員 (経済建設常任委員会副委員長、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員) 村上 和繁 議員 (民生福祉常任委員会委員) 粟屋 剛 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員) 草島 守之 議員 (上下水道事業審査特別委員会委員長) 松原 慶子 議員 (議会広報特別委員会委員：司会)

質 問	9月定例会の一般質問の「丹頂の里エリアのリニューアル」について、10月27日に行われた阿寒町観光振興公社の役員会において、コンサルタント会社が作成した案が示された。内容は、赤いベレー2階の宿泊機能と貸切り風呂の廃止を含むものだったが、これに対する議会としての対応等があれば聞かせてほしい。
松永議長	赤いベレー2階の宿泊機能の廃止等の案で決まったわけではなく、これから方向性を決めながら、来年度に向けて、取りまとめた内容をどう進めていくかという議論をこれから行うこととなっていることをご理解いただきたい。
意 見	赤いベレーの宿泊施設がなくなると、阿寒町本町地区の宿泊施設は2か所のみとなってしまふ。また、山花リフレは市街地から約15km程度離れている。このことから、経済団体の阿寒町商工会としては、何とかして宿泊機能を残してほしい旨の要望書を市へ出しており、議会のほうでも対応をお願いしたい。

意見	<p>J R 釧路駅の高架化について、当初は北大通と共栄大通を直線で結び、津波の際に避難しやすくするという案だったと思うが、いつの間にかL字型で結ぶ案になった。北大通周辺の人が津波から避難する場合には、幣舞町方面へ向かった方が早いと思う。</p>
粟屋議員	<p>L字型で結ぶ案となった理由について担当課に聞いたところ、一言でいえば、それを真っすぐにする単なる通過路線になってしまうことから、賑わい創出の観点からL字型にすることが必要だという説明だった。</p>

意見	<p>釧路都心部まちづくり計画の住民説明会の開催について、釧路新聞に記事が2回掲載されたが、阿寒町、音別町で開催するとは書いていなかった。1回目の記事掲載後、担当課に阿寒町や音別町での開催について問い合わせたところ、後日開催する予定であると説明されたが、その後開催されていない。不適切なことであり、議会としてもチェックをして、行政に意見を言ってほしい。</p> <p>阿寒町や音別町は人口が少ないから開催しなくていいと思わずに、1、2回でも開催してほしい。</p>
粟屋議員	<p>阿寒町と音別町で住民説明会を開催する方向で検討できないか、担当課に伝えたい。</p>
草島議員	<p>委員会の中でも、そういった開催要望の声には随時応えて説明会を行うようやり取りをしている。要望が担当課に届いていないということであれば、開催する形に導いていくよう我々のほうから伝えたい。</p>

<p>意見</p>	<p>石炭火力発電の際に、燃焼アンモニアを 20%混焼させることで二酸化炭素排出量を削減するという実験が資源エネルギー庁で行われている。</p> <p>日本製紙株式会社釧路工場の跡地利用の話題があったが、水素やアンモニアが次世代のエネルギーになるのではないかとされており、釧路市としてもそうした次世代エネルギーへの挑戦といったことでまちの活性化を図ることができると思う。</p> <p>私が勤務する会社は釧路市に鉱山税を納付しているが、地下資源というのは、国の紐付きにならない税金を徴収することができることから、鉱業や次世代のエネルギーに目を向けて、工場跡地をどうするかということに関しては、こうした提案を国に対して行い、新しい発電所を跡地に建設することによって、またまちが活性化していくと思う。</p>
<p>草島議員</p>	<p>工場の跡地利用については、おっしゃったようなアイデアを我々もしっかり聞きながら実現に向けて取り組んでいくことになる。大いにアイデアを出していただきたい。</p>

<p>意見</p>	<p>コールベッドメタンという炭層から出てくるガスがあるが、夕張市ではいま商業運転していると聞いている。</p> <p>コールベッドメタンは中国やオーストラリアでは完全に商業化されているエネルギーであり、また、音別と阿寒はかつて炭鉱があったまちであるから可能性はゼロではないと思う。夕張市でできたことがなぜここでできないのかという思いもあることから、議会としても少し考えていただきたい。</p>
<p>松永議長</p>	<p>日本製紙株式会社釧路工場については、従業員の雇用等の急を要する問題から着手している。工場の跡地利用については、今後しっかり協議をしながら進めていきたいと考えており、今のような積極的な意見をいただければ、議会としても議論をさせていただくので、よろしく願いたい。</p>

意見	<p>新型コロナワクチンの接種について、現在は国が費用を負担しているが、仮にインフルエンザワクチンと同じように定期的に接種しなくてはならなくなった場合に、医療保険が適用され、希望する人になるべく安価な金額で接種を受けられるような体制になってほしい。また、現在開発が進められている新型コロナウイルス感染症の経口薬についても、医療保険適用になってほしいと思う。</p>
村上議員	<p>3回目の接種が現実には外国では既に行われていることや、政府の中での検討も始まっていることから、将来的な費用負担の在り方について心配されている方も多くいると思う。私もその一人であり、今のご意見は参考にさせていただきたい。</p>

意見	<p>新型コロナワクチンの接種を進めなくてはならない一方で、様々な事情で接種を受けられない方のことも考慮しなければならないと思う。そうしたことを議員の皆さんにも受け止めていただいて、良い方向に導いてほしい。</p>
村上議員	<p>ワクチンの接種を受けていない方が差別を受けることや、不利益を被るようなことが絶対にあってはならないということは、これまでも議会で議論されているが、引き続き力を尽くしていきたい。</p>

<p>意見</p>	<p>釧路市の職員が新型コロナワクチンを保管する冷蔵庫の電源を切ってしまったことにより、ワクチンを廃棄せざるを得なくなったという事案があったと思う。</p> <p>類似の事案が他都市でも発生しているにもかかわらず、防ぐことができなかったのはなぜか。責任の所在はどこにあるのか。市の職員のミスに関しては、首長や議会にも監督が不十分だったことの責任があるのではないか。市の職員の労務管理については、議会の中でもしっかり議論してほしい。</p>
<p>村上議員</p>	<p>その事案について議会に報告された内容をお伝えする。最後に部屋を出た人が蛍光灯のスイッチを切ったところ、実はそのスイッチが冷蔵庫の電源にもつながっており、本人はそのことを十分に説明されていなかったようだが、それで蛍光灯の電源を切ったら結果として冷蔵庫の電源も切れたということだった。大変問題があることだと思う。貴重なワクチンを一定数であっても使えなくしたという重大な市の行政執行上の問題でもあり、議会からも厳しく指摘をした。</p> <p>同じ事例ではないものの、冷蔵庫の温度が高くなってワクチンを接種できなくなり廃棄したというような全国の事例も既にあったことから、そういうことのないよう十分すぎるほどのチェックが本当にされていたのか、また、議会でいうと、そういう視点で踏み込んで指摘をしたりチェックをしたりということが十分だったのかどうかという点はあるとは思うが、事情としてはそういうケースだったというふうに思っている。また、それ自体は大変遺憾なことだと思う。</p>
<p>草島議員</p>	<p>補足説明をすると、ワクチンを保管する場所についても、急に設けたものであり、最初から設備の整っている場所を確保できていたわけではなかった。専門的な知識が少しあれば分かったのかもしれないが、コンセントと蛍光灯のスイッチが連動するというのが分からないまま使ってしまったとのこと。</p> <p>そんなことは理由にならないとおっしゃるかもしれないが、だめな理由であっても皆さんに理解してもらいたいと思い、説明した。</p>

アンケート集計結果

2021年度(令和3年度)議会報告会「参加者アンケート」集計結果

1 会場別参加者数

日	会場名	令和3年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
11月2日(火)	音別町行政センター	21	-	-	-
11月4日(木)	釧路市中央図書館	23	22	40	-
	釧路市鳥取コミュニティセンター(コア鳥取)	15	-	10	12
11月5日(金)	阿寒町公民館	32	23	-	13
	釧路市役所本会議場		-	-	4
	釧路市男女平等参画センター(ふらっと)		-	-	4
	釧路市東部地区コミュニティセンター(コア大空)		8	-	5
	釧路市中部地区コミュニティセンター(コアかがやき)		-	20	6
	釧路市労働者福祉センター(サンライフ釧路)		-	-	-
	緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター		16	-	-
	音別町コミュニティセンター		-	19	10
	合計	91	69	89	54

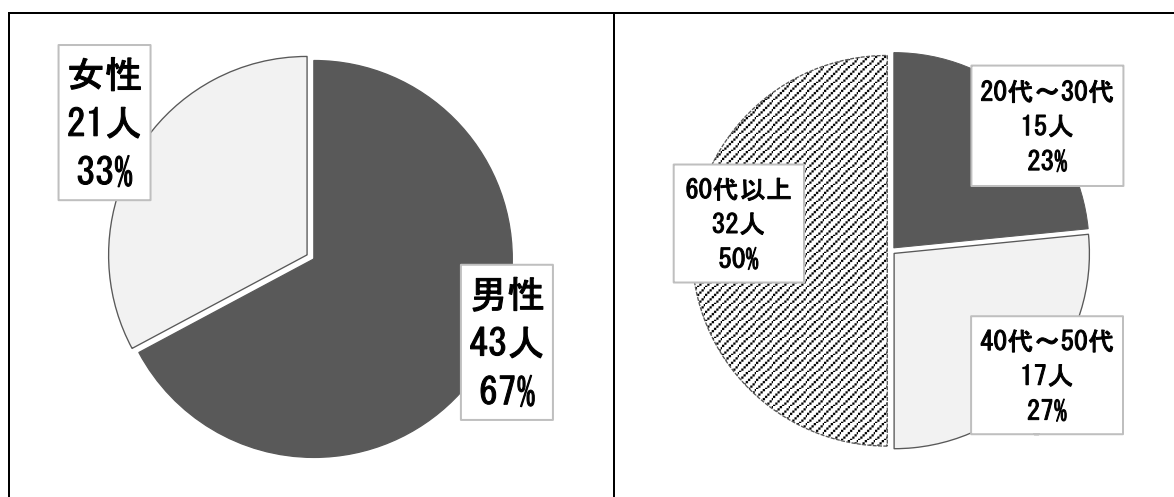
今年度の参加者数は合計91人、前回(令和元年度)と比べて22人の増であった。

会場別では、音別町行政センターは3年前の音別町コミュニティセンターと比べて2人増、中央図書館は前回比1人増、阿寒町公民館は前回比9人増、コア鳥取は3年前と比べて5人増だった。

2 アンケートの結果

アンケートは、参加者91人(行政センター職員18人を含む。)のうち64人から回収した。以下、会場全体を通してのアンケート結果について報告する。

(1) 回答者の性別、年齢(回答者数64人)

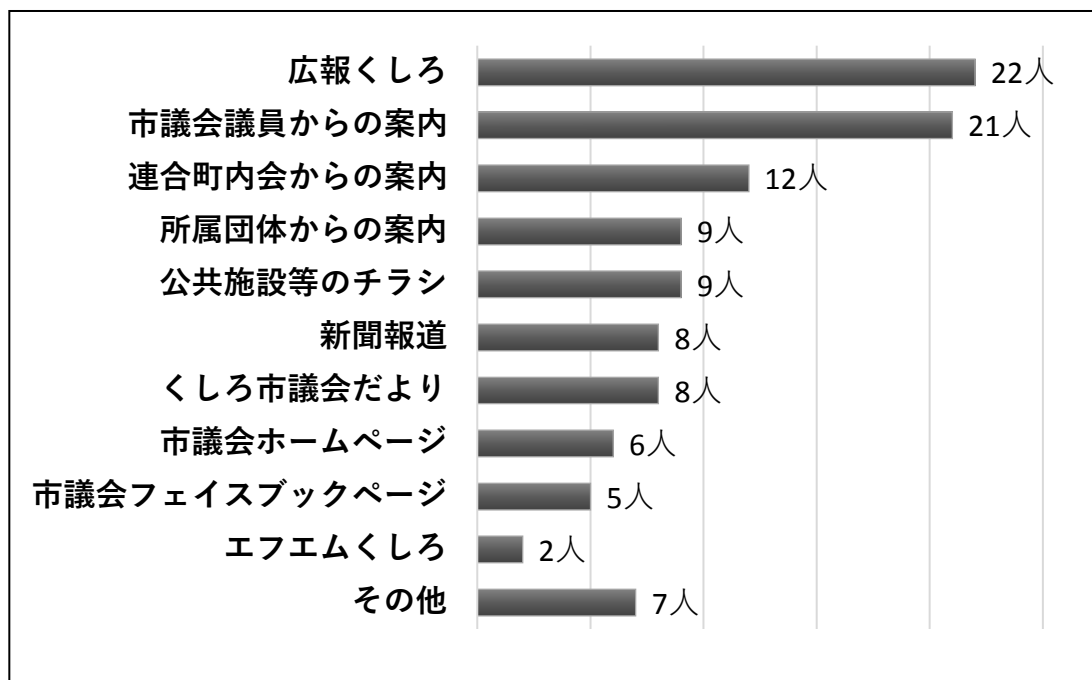


回答者の性別は、前回と同様、男性の割合が67%と多くなっている。なお、中央図書館のみ女性の回答数が男性を上回った。

また、年齢については、前は60代以上の回答者が約80%となっていたが、今年は50代以下の回答者が増えた。一番多かった年代は70代で17人だった。

(2) 議会報告会の開催を何で知りましたか（複数回答可。回答者数 63 人）

① 情報源（周知方法）ごとの回答人数

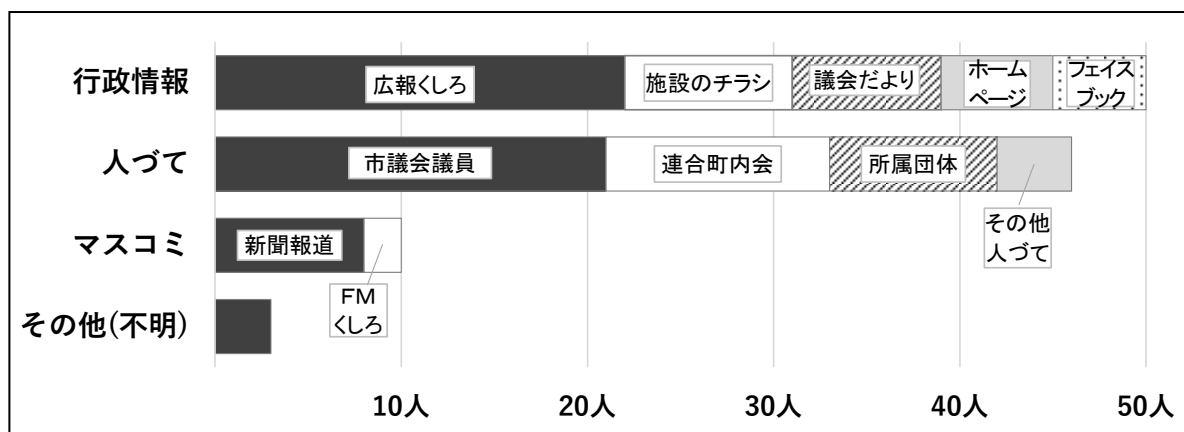


報告会の開催を知ったきっかけは、「広報くしろ」が最も多く、次いで「市議会議員からの案内」、「連合町内会からの案内」の順に多かった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、連合町内会の会合に出向いての周知や、公共施設等へのポスターの掲示を行わなかったものの、上位3つの組合せは、前回と同じであった。

「その他」の内容としては、「ツイッター」、「市議会議員のSNS」などであった。

② 情報源（周知方法）の分類ごとの回答人数



報告会を知るきっかけとなった情報源（周知方法）について、「行政情報」、「人づて」、「マスコミ」の3つに分類して集計を行ったところ、「行政情報」（50人）と「人づて」（46人）がほぼ同数であり、「マスコミ」（10人）は比較的少数であった。

③ 情報源（周知方法）の分類ごとの回答人数（世代別）（単位：人）

	行政情報	人づて	マスコミ
20～30代	4	11	1
40～50代	19	15	1
60代以上	27	20	8
全体	50	46	10

20代～30代の回答者は「人づて」で報告会を知ったと回答した割合が多く、行政情報やマスコミによる周知が報告会を知るきっかけにはあまりなっていない傾向が見られることから、この世代に対する議会広報事業の周知方法については、今後の検討課題であると考えられる。

④ 報告会を知った情報源（周知方法）の数

	1つ	2つ	3つ	4つ	5つ	1人当たりの 情報源の数(平均)
20～30代	12人	1人		1人		1.29
40～50代	8人	4人	2人	2人	1人	2.06
60代以上	17人	8人	5人	2人		1.75
全体	37人	13人	7人	5人	1人	1.73

回答者が報告会を知った情報源（周知方法）の数を集計したところ、「1つ」の情報源により報告会を知ったという回答が、全ての年代を通じて最も多く、20～30代の区分で特に多かった。

報告会を知った情報源の数は、回答者全体では1人平均1.73であった。

40代以上の世代では、30代以下の世代と比較して、多くの情報源から報告会の情報を得ていたことがうかがえる。

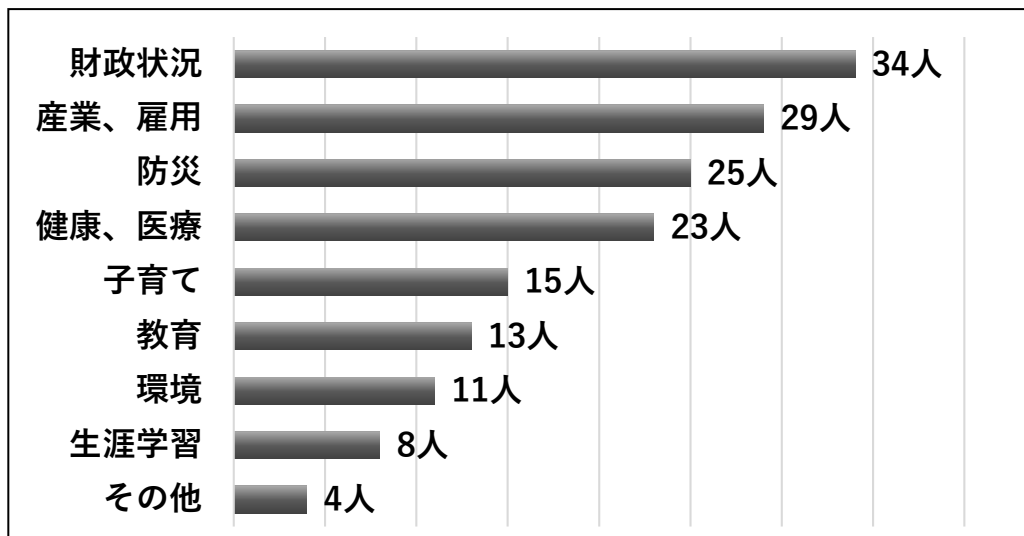
⑤ インターネットによる周知の状況

報告会を知るきっかけとなった情報源（周知方法）について、「インターネット」、「非インターネット」に分類し、検討を行った。

インターネット（市議会ホームページ、フェイスブック）を見て知ったと答えた回答者は約2割にとどまっていることから、回答者にとっては、インターネットによる周知が、報告会を知るきっかけにはあまりなっていなかったことがうかがえる。

このことから、より一層市議会のホームページやフェイスブックに親しんでもらえるよう努めることや、日頃からインターネットを積極的に利用している方に対する情報発信の方法等についても、今後の検討課題であると考えられる。

(3) ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか（3つまで回答。回答者数 60 人）

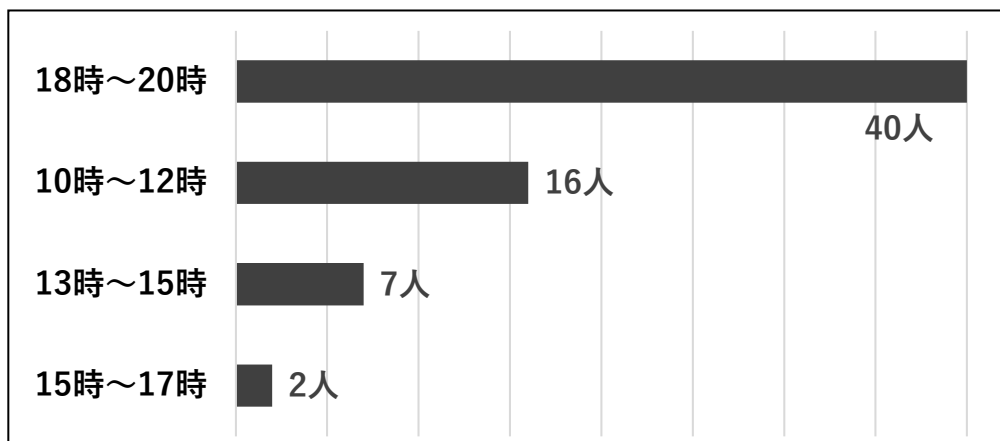


市政に関して興味のある事項は、「財政状況」が最も多く、次いで「産業・雇用」、「防災」の順に多かった。上位3つの組合せは、前回と同じであった。

「その他」の内容としては、「地域振興」、「まちづくり」のほか、全てに関心があるという回答もみられた。

なお、4つ以上回答があったものについても、無効回答とはせず、集計に加えた。

(4) 議会報告会に最も参加しやすい時間帯はいつですか（回答者数 62 人）



議会報告会に参加しやすい時間帯は、前回と同様、「18時～20時」の夜間が最も多く、次いで「10時～12時」の午前中、「13時～15時」の昼過ぎの順に多かった。

なお、2つ以上回答があったものについても、無効回答とはせず、集計に加えた。

(5) 今まで、オンライン(YouTube、Zoom等)で行われた会議、会合などに参加したことはありますか(回答者数63人) (単位:人)

	ある	ない	わからない	計
20~30代	7	7	0	14
40~50代	8	9	0	17
60代以上	10	20	2	32
全体	25	36	2	63

60代以上の回答者の約3分の2、50代以下の回答者の約半数がオンラインで行われた会議等に参加したことがないと答えていた。「わからない」と答えたのは2名であった。

参加者の意見の中には、オンラインでの映像配信による議会報告会の開催を望む声もあったことから、例年の参加者の傾向も踏まえながら、開催方法を検討していく必要がある。

3 次回の議会報告会に向けて

2021年度は、アンケート回答者のうち50代以下の割合が半数となり、例年以上に若い世代の参加があった。

20代~30代の回答者が議会報告会を知ったきっかけを見ると、「人づて」との回答が多く、議会報告会を知った情報源についても、多くが「1つ」と回答していることから、議会だよりや広報くしろによる周知では不十分であり、より直接的な方法で周知を行う必要があることが示唆される。

また、インターネットによる周知が十分届いていない現状も示唆されている。

このことから、今後も継続的に議会報告会に関心をもってもらうために、今年度の参加者に対して翌年度の議会報告会の開催を直接案内するようなことも、地道ではあるが検討する余地がある。

議会報告会の開催の時間帯については、おおむね適切であったと思われるが、土曜日や日曜日の開催についての要望もあったことから、多くの市民にとって参加しやすい開催方法、曜日、時間帯、場所等について改めて研究することが今後の課題である。

4 アンケート等の内容（参考）

(1) アンケート回答用紙



釧路市議会「議会報告会」2021 参加者アンケート

以下の質問の該当する項目にチェック☑をつけてください。

1 性別

- 男性 女性

2 年齢

- 20 歳未満 20 代
 30 代 40 代
 50 代 60 代
 70 代 80 歳以上

3 議会報告会の開催を何で知りましたか。（複数回答可）

- 市議会ホームページ
 市議会フェイスブックページ
 広報くしろ
 くしろ市議会だより
 公共施設等のチラシ
 連合町内会からの案内
 所属団体からの案内
 市議会議員からの案内
 新聞報道
 エフエムくしろ
 くしろログ（ユーチューブのチャンネル）
 市役所防災庁舎の電光掲示板
 市役所戸籍住民課のモニター広告
 その他（ ）

4 ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか。（3つまで）

- 財政状況
 防災
 環境
 健康、医療
 子育て
 教育
 生涯学習
 産業、雇用
 その他（ ）

5 議会報告会に最も参加しやすい時間帯はいつですか。

- 10 時～12 時
 13 時～15 時
 15 時～17 時
 18 時～20 時

6 今まで、オンライン（ユーチューブ、Zoom 等）で行われた会議、会合などに参加したことはありますか。

- ある
 ない
 わからない

質問は以上です。
ご協力ありがとうございました。

(2) 「皆さまの声を寄せください」回答用紙（自由記述式）



皆さまの声を寄せください

このたびは議会報告会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

釧路市議会では、「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指し、さまざまな取り組みを進めています。

つきましては、今後の取り組みの参考といたく、議会報告会も含めた議会全般について、皆さまのご意見をお寄せください。

(記載欄)

提出方法

- 会場の回収箱に入れていただくか、後日FAXで下記の宛先までお送りください。
- Eメールでもご意見を受けつけています。

【送付先】 議会事務局（釧路市役所本庁舎2階）



(FAX) 0154-23-7679



(E-Mail) gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

(参考資料) スライド



議会基本条例を制定（平成23年）

「市民にわかりやすい開かれた議会」

- ・ 市民への情報発信と説明責任を果たす
- ・ 市民と情報や意見交換する場を多様に設ける



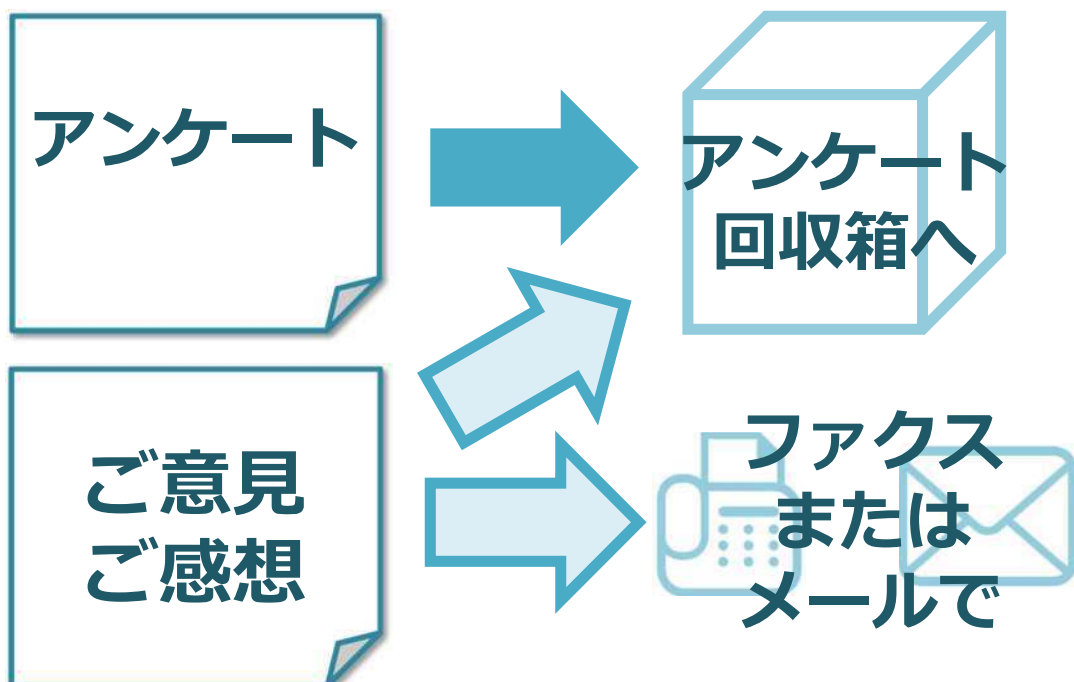
そのひとつが「議会報告会」

本日の次第

1. 予算決算常任委員会の新設
2. 9月定例会の報告
 - ① 日程
 - ② 質疑・一般質問
 - ③ 委員会審査
 - ④ 審議結果ほか
3. 質疑応答、意見交換

3

ご協力をお願い



4

予算決算常任委員会の新設

予算決算常任委員会による審査

2020年 6月	予算決算審査等検討会議の設置
12月	予算決算常任委員会の設置の決定（市議会委員会条例の改正）
2021年 2月	予算決算常任委員会による初めての予算審査の実施



9月定例会の日程

主な日程（会期 17日間）														
9/1 (水)	2 (木)	3 (金)		6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木)	10 (金)		13 (月)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)
市政報告、提案説明	質疑・一般質問（5人）	質疑・一般質問（4人）		各分科会／常任委員会審査	各分科会／常任委員会審査	各分科会／常任委員会審査	各常任委員会審査	採決		予算決算常任委員会審査	各分科会審査	各分科会審査	予算決算常任委員会審査	採決
										←決算の審査のみ→				



質疑・一般質問

質疑・
一般質問 1

避難行動要支援者避難支援事業の推進
のため、若者の町内会加入促進を

避難行動要支援者への訪問調査の進捗状況や本事業への町内会の参加状況、高齢化が課題となっている町内会への若者の加入促進について聞きたい。



要支援者名簿登載者のうち一部は調査を終えている。さらなる事業の推進を図るとともに、若者を含めた町内会の加入促進に向けたさまざまな取り組みを行っていききたい。

質疑・
一般質問 2

早急に家庭内感染拡大を防ぐための対策を

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の増加に伴う家庭内感染拡大を防ぐために、対策を急ぐべきと考えるがどうか。



市の医療体制は逼迫していないが、多病床療養施設の設置について北海道に要望しているところであり、今後とも感染防止に努めていきたいと考えている。

質疑・
一般質問 3

日本製紙釧路工場の紙・パルプ事業
撤退による人口減等の対策を

日本製紙釧路工場の紙生産の終了により、人口減にさらなる拍車がかかることが懸念される。市全域及び鳥取地域の将来人口の推移や工場撤退の影響について見解を聞きたい。



撤退による経済的・社会的影響は、市全体にとって非常に大きいものと認識しており、日本製紙及び関連企業の従業員とそのご家族がこの地域に住み続けられるよう、人口減少対策や地域の活性化に向けた取り組みを進めていく。

質疑・
一般質問 4

早急に全ての教師、幼稚園教諭、保育士
等へコロナワクチンの接種を

学校や幼稚園、保育園等の教職員等に対するコロナワクチンの接種を早急に進めるべきと考えるがどうか。



小中学校の教職員等は7月25日から、幼稚園・保育園等の教諭・保育士等は8月26日から優先的に進めてきた。教職員等への接種は、子どもたちの大切な時間、学びの時間を確保する面で重要であり、極力早めていきたいと考えている。

質疑・
一般質問 5

通学路の安全を守るための対策を

千葉県八街市の小学生の死亡事故を踏まえ、重大事故に対する各種対策を講じることが重要と考える。子どもを守るのは大人の役割であり、今後の対策を強化すべきと考えるがどうか。



必要に応じたハード面の整備を迅速に進めていく。大人が交通規範を順守することのほか、子ども自身が危険回避能力を高めることも重要であると考えており、学校における交通安全教育をより充実させていきたい。

13

質疑・
一般質問 6

津波一時避難施設の見直しを

北海道が公表した新たな津波浸水想定では、浸水深が前回よりも下がっていたため、音別町海光団地の5階建ての市営住宅を新たに一時避難施設として活用できないか。



音別地区は、大楽毛南地区と同様に避難困難地域であり、最重要地域であると考えている。海光団地についても新たな避難施設として活用できないか検証していきたいと考えている。

14

質疑・
一般質問 7

阿寒丹頂の里エリアのリニューアル

民間のアウトドア関連企業と連携しながら、自然体験の聖地として国内外の本物志向から選ばれる地区になることが重要である、という発想に基づき事業計画を策定すべきと考えるがどうか。



地域に愛される阿寒丹頂の里のエリアとなるとともに、地域外からの誘客にもつながるものにしたい。その上で、民間企業との連携などにより、阿寒地域の活性化につながる展開も今後検討し、協議していきたい。



委員会審査



総務文教
常任委員会

旧日本銀行釧路支店 「建物の利活用に向けた検討を」

リバーサイドの景観やにぎわいづくりにとって重要な建物であり、建物を長期的に保存していくための手だてが必要ではないか。早急に市民や企業の声を聞くなど、建物の利活用について検討すべきではないか。



利活用を図るためには多額の費用が必要となるが、存続の手法や活用方法について幅広い意見をいただくことは大切であり、早期に、どのように進めていけるか協議していききたい。

17

総務文教
常任委員会

建設中の音別地域交流拠点施設 「コミセンとの両立を」

新しい施設に多目的室を設けるとのことだが、コミセンの研修室と類似する部分がある。2つの施設の両立等の課題についてどのように考えているか。



コミセンは団体利用もあり、しっかりとすみ分けしたい。新しい施設は多目的施設で、商工会や大地みらい信金がテナントとして入居することから、会議等の催しなど、音別地区の中心部に建つことも踏まえて、活用方法を検討していききたい。

18

経済建設
常任委員会

子育て施策の推進に向けて
「子どもに優しい公園づくりを」

さまざまな子育て施策を打ち出している状況において、小さい子どもや障がいを持つ子どもにも優しい公園づくりが必要になると思われるがどうか。



子育てにおいて、公園が果たす役割は重要であると認識しており、子育て関係の各種団体からのさまざまな要望にも耳を傾けながら、子どもに優しい公園づくりについて検討していきたい。

民生福祉
常任委員会

環境基本計画および一般廃棄物処理基本計画「普及啓発の推進を」

さまざまな媒体を利用して周知することがますます重要となる。他課とも情報発信の方法などを共有しながら、普及啓発の推進に向けて取り組むべきではないか。



インスタグラムおよびユーチューブを活用した情報発信に向けて取り組み始めたところであり、出前講座などの従来の方法も活用しながら、幅広い世代への周知に取り組んでいく。

石炭対策・
関連エネルギー調査
特別委員会

「北海道石炭対策連絡会議による
中央特別要請」について

オール北海道の枠組みである会議として、
炭鉱保安技術等の海外移転推進に向けた取
り組みの充実と継続などの要望を行った。



経済産業副大臣から、『石炭は、
依然として電力を支える重要な
燃料であると理解しており、要
望内容は、経済産業省として
しっかりと受け止め、対応して
いきたい。』と話があった。

都心部市街地整備
特別委員会

釧路都心部まちづくり計画「駅高架下
の接続道路の形状について、市民理解
を深めるため、さらなる検討を」

計画の市民説明会において、北大通と共栄大通の
接続道路の直線化を求める声があったが、その変
更も含め市の考え方を聞きたい。



計画の大きな目標である、都心部を
人と公共交通中心の空間に変えるた
めに、今後、より詳細な調査や関係
機関との協議を進める中で、さらな
る検討を進めるほか、説明会を追加
開催し、市民理解を深めていきたい。

上下水道事業審査特別委員会

審査日程 7月15日、16日、21日 (3日間)

審議内容 水道料金および下水道使用料改定案に係る財政収支計画、市民や事業者への周知方法などについての議論

付託案件 令和3年度釧路市水道事業会計補正予算
令和3年度釧路市下水道事業会計補正予算
釧路市水道事業給水条例等の一部を改正する条例

9月10日
賛成多数で可決

9月定例会で審議された議案

議案

今定例会提出
27件

全会一致 20件
賛成多数 7件

可決
認定
同意

継続審査中
賛成多数 3件

可決

意見書

7件

全会一致 4件
賛成多数 2件
賛成少数 1件

可決

否決

陳情

賛成少数 1件

不採択

新型コロナ対策に関する議論



感染拡大防止対策

- 家庭内感染拡大の防止
- 空港や駅でのPCR検査
- スポーツ大会等における感染防止対策



新型コロナワクチン

- 教職員等への早急なワクチン接種
- 若い世代へのワクチン接種
- ワクチン接種特設会場での接種人数、感染対策



経済対策

- 国の臨時交付金を活用した事業(サポート商品券等)
- 事業者の事業継続支援
- コロナ後のクルーズ船の誘致・受入環境整備

日本製紙釧路工場に関する市の対応



地域の緊急雇用対策に係る
社会人枠採用試験の実施



工場の跡地利用の協議

質疑応答 意見交換

ご参加いただき ありがとうございました

**2021 年度(令和 3 年度)
議会報告会結果概要**

2022 年 1 月発行

発行 釧路市議会

編集 議会広報特別委員会

〒085-8505 北海道釧路市黒金町 7 丁目 5 番地

TEL : 0154-31-4581

FAX : 0154-23-7679

E-Mail : gi-gikai@city.kushiro.lg.jp